

## ファントムからヒトへ — 段階的な超音波実習 —

### ■ 背景 「プローブをあてる位置がわからない」 学生の声に応える実習

当施設の超音波実習（1年生対象）は、腹部超音波ファントムを使用して行っています。初めてエコー手技に触れる学生にとって臓器描出を伴うプローブ走査は困難であるため、我々教員は限られた実習時間のなかで学生と共通の認識がしやすい学習方法を検討していました。この課題を解決すべく、YouTubeで公開されている腹部超音波検査手技の“映像教材”を加えた新たな実習を試みました。

映像は YouTube で無料公開されているため、いつでもどこでも視聴が可能です。学生は事前に映像を視聴し、実習の前半は映像と腹部超音波ファントムを活用、後半は学生同士で手技をおこなうという段階的なプログラムを組みました。



### ■ 指導者の想い



末永 光八

城西放射線技術専門学校 副校長  
診療放射線学科 学科長  
日本医療科学大学 兼任教授

当初学生は手技に対する不安があるように見受けられましたが、実習後には「解剖や画像に慣れることができた」や「超音波検査を身近に感じることができた」という嬉しい声があがりました。学生の理解に差はあるものの、映像と同様の画像を描出できた時の嬉しそうな笑顔から、映像教材を加えた学習の効果を実感しています。

約7分間で視聴できる映像の利点として、教員にとって“実習の計画を立てやすい”ことや、学生にとって“集中しやすい”ということもあります。

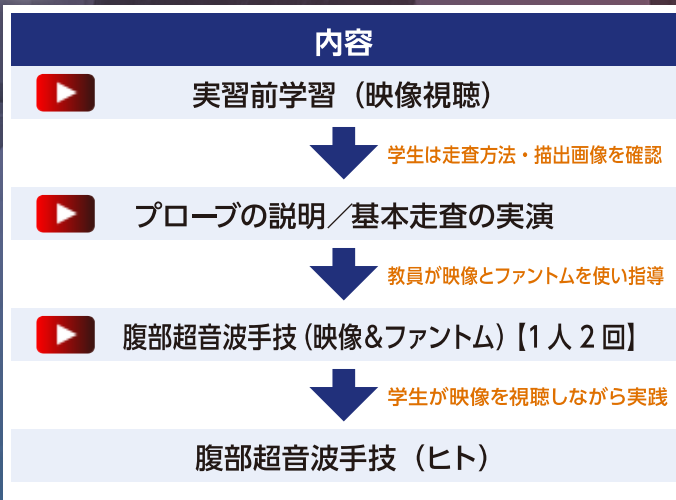
今後も映像学習にはじまり、ファントムからヒト（学生同士）へと段階的なトレーニングが可能な学習を提供していきます。

患者様の気持ちが分からない技師は良い検査ができません。実習を通じて学生が患者様の立場を体験することで、“技師はどうあるべきか”を考えてほしいと願っています。



## 患者様の気持ちがわかる 放射線技師を目指して!!

### ■ エコー実習の流れ



※  映像教材活用

### ■ 学生の声

- 映像とシミュレータを使うことで腹部エコーの進め方や臓器の位置がよくわかった。
- 初めてエコー装置を使用しましたが、この実習で苦手な部分が明確になり、さらに学習したいと思います。
- 事前に動画を見てから実際に手技をすると、プローブをどのようにあてれば目標の臓器が映るのかを学ぶことができました。



### 映像教材

(YouTube 無料公開中)

- ☞ 探触子 (位置・角度) 走査の把握
- ☞ いつでもどこでも学習 (予習・復習)
- ☞ 段階的な学習 (ファントム・ヒト)

**映像の活用例として実習 / 講習の手引き (ダイジェスト動画) が公開されました。**